

高崎市営山名団地

1967-70年に建設された団地の建替えである。計画地は北下がりの斜面地で軟弱な地盤であるため、経済性を考慮して2連戸または4連戸の2階建て木造共同住宅として計画した。

コミュニティ形成を重視し、防犯性の高い住宅団地とするため、南入り住棟と北入り住棟を組み合わせたペアコモンアクセスの配置計画とした。また、積層型の共同住宅の弱点である上下階の遮音性能を高めるため、AKジョイントを用いて2階の床をコンクリートスラブとしている。なお、木造とすることで、地場産木材の活用、地域生産団体の振興に寄与した。

所在地	群馬県高崎市
発注者	高崎市
敷地面積	約2.8ha
用途	市営住宅（148戸）
構造・規模	木造（在来軸組構法－鉄筋拘束接合）・地上2階
竣工年	2011年